



学校だより

学校教育目標

夢をもち たくましく 挑戦する 児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校
第5号

令和5年4月28日発行
文責 校長 淵上 純

4/20(木) 総合的な学習の時間

4/20(木)午後の総合的な学習の時間は、まず5時間目に、先週みんなで決めた「小学校の目標」の掲示物を制作しました。

目標の周りには、それぞれ子どもたちが決めた「自分のマーク」も書き込み、一枚の広用紙に5人全員が関わって作成することができました。一人ひとりの思いのこもった掲示物ができそうです。



【 掲示物作成の様子 】



【 学級菜園づくりの様子 】

次に、6時間目は、学校菜園の畑づくり

を行いました。草が生えないように、ブルーシートをかぶせていましたが、それでも草が生えていました。耕す前に草取りの作業から始めることになりました。

今年度もジャガイモの栽培を行う予定を立てていますので、畑を耕して種芋を植える準備を進めていこうと思います。

4/25(火) 原子力防災研修

4/25(火)放課後に、唐津市危機管理防災課から、飯田重雄様、中江譲二様の2名の講師をお招きして、職員用の原子力防災にかかる職員研修を行いました。

初めに、原子力対策監の飯田先生から、「原子力防災について～知っておいてほしい基礎知識・冷静な行動につなげて頂きたい～」として、次の内容で講話が行われました。



【 講話の様子 】



【 避難施設の動作確認の様子 】

①放射線とは？放射能とは？②原子力発電

所のしくみ③原子力災害とは④福島第一原発事故とそれから得られた教訓⑤原子力防災計画のポイント

次に、中江先生から体育館で避難施設の開設について説明がありました。写真の通り、実際に施設を引き出し、所定のスイッチでポンプを稼働し、バルブを開いて室内の施

設を内から加圧しました。大人が2～3人いれば簡単に開設することができました。施設内にはエアコンも設置されており、快適に過ごせるようになっています。

また、体育館2階には「簡易トイレ、簡易ベッド、毛布、マット、車いす、非常食(3日分)、飲料水(3日分)、防護服、ライフジャケット」等、様々な物が備蓄されています。

本日の研修は、原子力防災だけでなく自然災害時にも対応できる研修であり、大変、有意義な時間となりました。今後も研修を進め、防災意識を高めていきたいと考えています。

4/26(水) 2, 3年生 授業の様子

4/26(水)3時間目、2, 3年生は多久島教頭先生の国語の授業がありました。今日は、「絵本を読んでみましょう」という授業でした。

一人ひとり好きな絵本を選び、①この本を選んだ理由、②どんなおはなしか、③最後にお勧めの言葉を発表しました。

3人とも、とても丁寧で分かりやすい発表をすることができ、校長先生も拍手をしながら、思わず「すごい！とても上手でしたね」という言葉が出てしまいました。

次に、その本を実際に音読しながら紹介しました。座って絵本の絵を見せながら読むことが難しそうでしたが、3人とも上手に読み聞かせをすることができました。授業中に、生き生きと活動する子どもたちの楽しそうな表情がとても印象的でした。



【発表の様子】

4/28(金) ランチルームでの給食再開の話



【森先生のお話の様子】

4/28(金)朝の集会で、養護教諭の森先生からランチルームでの給食再開についてお話がありました。

5/8(月)から新型コロナの法律上の取り扱いが、2類から5類へと季節性インフルエンザと同様の取り扱いになります。これに伴い、これまでは、感染対策に基づき各教室で給食をとっていましたが、5/8(月)以降は、全員がランチルームで給食をとることができるようになりました。

しかし、5年生以外は、初めてのランチルームになりますので、みんなで協力して給食を素早く準備し楽しい時間を過ごせるように、森先生から、①給食当番について②給食の準備の仕方について等の説明がありました。

話が終わると「早く5月にならないかな！」「ランチルームでの給食楽しみ！」等の声が子どもたちから聞こえました。

しかし、新型コロナ感染症が無くなったわけではありませんので、換気や距離等の一定の感染対策を講じながら給食再開を進めていきたいと考えています。

■ スマホ等で右のQRコードを読みとっていただくか、下記のアドレスを入力していただくと加唐小中学校HPをご覧になることができます。

■ <https://www.education.saga.jp/hp/kakara-j/>

